



年頭の挨拶

知名町議会
議長 今井吉男

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

私は、昨年九月十四日の議会臨時会において第三十六代議長に選任されました今井吉男でございます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、昨年は、相次ぐ台風襲来や病害虫被害により、本町の基幹作物のサトウキビをはじめ、葉タバコ等の生産量が減少、また、バレイシヨや花卉等の販売価格の低迷もあり、本町の農業生産額は減少しました。

国内に目を向けますと、自然災害が多発、九月二十七日には御嶽山の突然の噴火で大勢の登山者が巻き込まれ、死者五十六人、十二月十六日には「爆弾低気圧」が発生し日本全土冬型の気圧配置が強まり、大雪による影響で九名の尊い命が犠牲となりました。また一方では消費税増税による輸入品の相次ぐ値上げで食料品をはじめ、物価上昇で国民生活に影響が出て改善の兆しが一向に見られません。

安倍総理は、アベノミクスによる景気回復を訴えましたが、地方への経済波及効果の実感がありません。衆議院を解散、選挙の結果、自民・公明両党で3/25議席となり、定数の三分の二を上回る結果が生まれました。安倍総理には、アベノミクスがもたらす物価高や格差拡大を解消して離島にも経済効果が届く施策を構じて頂きたいと思っております。特に離島においては、物価高の上に消費税が掛かるので、本土に比べ割高な消費税を支払っており、「軽減税率」の早期実現を期待したいと思っております。

群島内に目を向けますと、大島高校野球部が県内離島

初の甲子園出場という快挙を果たしました。また、群島民待望の「航空・航路運賃軽減事業」及び「農林水産物の輸送コスト支援事業」が始まりました。さらには、全国離島初のご当地ナンバー「奄美ナンバー」交付のスタート。農業においては、今期のサトウキビ生産見込み量は、七万五千トンで、南栄糖業が三期ぶりに十二月操業を開始するなど、新年に明るい展望を繋いでいた、だきました

町の課題として、第一に少子化問題、第二に農業や産業の振興です。昨年末に「地方創生法案」が国会で可決され、来年度から人口減少の克服や地方経済活性化を進める地方創生の一環として、地方自治体の判断で柔軟に使える交付金制度が創設されます。町の財政は厳しく、緊縮財政の下、少子化対策や各施策の成果が出せるように、議会と町執行部が切磋琢磨してお互いが知恵を出して、国の補助金等を活用し、町民の幸福と町の振興・発展に十二名の議員が一致協力して取り組む所存であります。町民の皆様のご理解とご協力をお願い致します。

平成二十七年 二元旦



議会の動き

30日・第3回議会定例会閉会

9月

3日・第21回日本観光鍾乳洞協会総会（長崎県西海市）

・第27回日本鍾乳洞サミット in 西海（長崎県西海市）

9日・沖永良部衛生管理組合議会定例会

18日・知名保育所運動会

・下平川保育所運動会

19日・第49回町民体育大会

24日・常任委員会所管事務調査（鹿児島県立農業大学校（日置市））

25日・常任委員会所管事務調査（社会福祉法人 旭生会 旭ヶ丘園（鹿児島市））

26日・全国沖洲会連絡協議会（鹿児島市）

・全国沖洲会100周年記念祝賀会・敬老会（鹿児島市）

28日・第2回議会臨時会

30日・鹿児島県離島議長行政調査（長崎県杵岐市）

11月

4日・平成26年度学校訪問（各小・中学校）

各小・中学校校長・教頭と議会議員との意見交換会

5日・大山自衛隊開庁記念祝賀会